

境港九条の会

2008年 5月15日発行
境港九条の会 第8号
事務局 ■ 中野町 5083
岩本泰蔵宅 ☎44-2574

非暴力で心の再建を イラクの復興を

境港九条の会は、四月十九日(土) 高遠菜穂子講演会を境港市文化ホールで行いました。高遠さんは「イラクでは今なにかおこっているのか」と題して講演。要旨は次のとおりです。

アメリカ軍が総攻撃するようになると、交通機関が封鎖されて情報が全く入ってこなくなりマスコミも拘束されカメラ、ビデオ、テープなどは没収され報道ができない。逆に援助物資が届けられなくなるので病院などでは必要な治療さえ出なくなる。イラク人は外国人に疑心暗鬼で取材を拒否しています



日本人には特別な親近感を持っていません。それは日本に平和憲法があつて戦争をしない国だと教えられているため、日本人だと分かるといういろいろな情報を教えてくれます。

しかし自衛隊が派兵されるようになってから、イラク人の感情も変わつてきて、「日本はなぜ自衛隊を派兵するのか」「アメリカのスパイなのか」などの反感を買うようになり、日本人のボランティア活動も難しくなつてきました。

アメリカは軍と民間組織が一体となつて再建を進めているので、軍と同一視されて攻撃を受けています。これからの復興支援は、軍との無関係を示してからでないと出来ません。そうしなければ外国人はもとより、自分たちに協力してくれるイラク人でさえ、その標的になるのです。

アメリカの無差別爆撃で多数の市民が殺されており、その遺族たちによってレジスタンスと呼ばれる抵抗勢力が、日に日に増えています。



文化ホールに310名の参加者

イダ)が加わりアメリカに対抗していますが、それを憂慮した部族長たちがアメリカに自治権を保障させて、自ら部族警察を結成するなど国内情勢は混沌としており、見通しはとても心配です。

「イラク戦争とは何だったのか」家族を殺された人たちの憎しみを増幅させただけ。暴力が暴力を生み、被害を拡大させていくことはもうやめて、非暴力で心の再建をしていくことでイラクの復興を成し遂げたい。

世界と日本の平和をまもるために憲法9条改悪に反対しましょう

会員の皆様のご協力で、講演会参加者は310人でした。

「憲法九条は身を守るものだという彼女の到達はすばらしい。相手の身も守るようになることを願っているのですね」

「知らないですましている私たち、知ろうとしない私たちであってはならない。知らせることは知っている人の責任でもある」

「今回、本人から直接報告を聞いてしっかりとポリシーをもった人なんだなあと思った」

「知らなかった。事実の重みを知った。もっと知らなければと思ったし、自分何ができるか考えたい」など感想もたくさん寄せられました。

「憲法九条の大切さ」と「境港九条の会」の活動を、二重にも三重にも広く市民に知ってもらおう大切な場になりました。

当日会場での寄付金は60278円もあり、会場での書籍もすべて売り切れる大盛況。今回の事業には鳥取県から補助金もいただくなど、今後の活動

自分になにができるか、考えたい

賛助出演して下さったゴスペルオーブのみなさん



感想次々

の基盤を固めることが出来ました。

反省点も多々ありましたので、今後の活動に生かしていきます。当日の新入会員は3人でした。みなさん大変ご苦労様でした。

今回の講演会の記録があります。貸し出しを行いますので事務局まで連絡して下さい。DVDとMDの二種類です。

改憲派が「九条の会」に
対抗して地方に拠点づくり

昨年5月安倍首相らによって改憲手続法が強行され、衆参に憲法審査会が設置されましたが、7月の参院選で自民党が惨敗したため始動できずにいました。

ところが今年3月に民主党が加わった新憲法制定議員同盟総会で行われ、憲法審査会が動き出す可能性がでてきました。自衛隊を海外に派兵する武力行使恒久法つくるためです。この議員同盟では「九条の会」に対抗して地方の党支部や青年会議所を拠点に、その活動を進めようとしています。

広がっている私たち「九条の会」の運動に対抗しようというのです。これから地方「草の根」でのせめぎあいですが、ますます激化することは避けられません。

「九条の会」を地域に職場に広げつつ学習、宣伝を強化することがますます大切です。



九条の会は思想・信条・宗教の違いを超え、憲法九条を守るという一点で力をあわせて活動する、誰でも入れる会です。

医師 聖路加国際病院理事長

日野原 重明さん

平和を守る勇気を

日本は日中戦争という誤った戦争に踏み出し、近隣諸国に大きな惨禍をもたらしました。中国で人体実験を行った731部隊の石井四郎中将は京都大学の先輩です。私が医学生4年生のとき人体実験の十六ミリ映画をみせられました。捕虜を檻の中に入れてチフスやコレラ菌その他の各種の病原菌を感染させて何日目に熱が出るか、何日目に死ぬかというものです。また、南京で日本兵が銃剣で妊婦のおなかを突き刺す場面も見ました。見た学生はみんなぞつとして、脳貧血を起こして倒れるんです。僕らはそういう事実を知っているから、あれはもう過去のこと、なかったことだなんて嘘は通じない。アメリカのベトナム戦争もそうですが、戦争というものは人間を悪魔にしてしまいます。久間前防衛大臣の原爆投下「しょうがない」発言もひどいものです。被爆の悲惨さを知る私たちは、世界に何万発もの核兵器があることを踏まえ、平和の尊さを語り継いでいかなければなりません。現代人に必要なのは戦う

勇気より、平和を守る勇気です。



2007年9月の新聞より転記

安保条約の破棄を

私は日本が平和憲法を実現して世界平和のとりのくみの先頭を目指すことを願っています。米軍への基地提供も十年後には解消したいと、アメリカに伝え、その後は完全に軍備のない独立国家となってほしいと思います。そのために安保条約を破棄することにアメリカは文句を言えません。いい方向にするんですから。

また、反対したら他の国は文句を言いますよ。ポツダム宣言を受諾して日本が無条件降伏したのは、アメリカに無条件に従う

ということではなく、世界に非戦を宣言したのですから。

命への畏敬

すべての命は皆神様から与えられたものであり、動物でも植物でも生きる権利がある。だから地球上の全生物が共生する方向にもっていくべきだという考え方です。いわんや人間同士が殺しあうなどともない。

東京大空襲の時には多くの被災者が聖路加国際病院に運ばれてきました。大やけどを負った大人や子どもたちが、薬品もなく目の前で死んでいきました。その光景はいまも私の脳裏に焼き付いています。私は命を守る医者です。命を脅かす最大のものが戦争です。だから私は日本が軍隊をもつことに同意できないし、平和運動に徹するのは医者務めです。

憲法をかえるかどうかを最終的に決めるのは国民です。政府の改憲の狙いはアメリカと一緒に地球のどこかで起こる戦争に従事することです。その足がかりとして国民投票法を国会で強引に成立させましたが、心して憲法を読み返して、改憲阻止の運動を進めることが大事です。

四月一七日名古屋高裁で自衛隊のイラク派兵について憲法違反の画期的な判決がありました。

自衛隊のイラク派兵については「現在イラクでは、国際的な武力紛争がおこなわれており、自衛隊の武装兵空輸は他国による武力行使と一体化した行動である」としてイラク特措法にも憲法にも違反する、としました。また「平和的生存権」について「憲法上の法的な権利として認められるべき」として「憲法九条に違反する戦争の遂行等への加担・協力を強制させられる」ような場合には、裁判所に救済を求めることが出来る」と明言しました。

憲法九条違反を認めたのは1973年の札幌地裁の長沼ナイキ訴訟判決以来35年ぶり、高裁では初めてです。2004年に「九条の会」が発足してから「憲法を変えないほうがいい」の意見が毎年増え続け、4年目の今年には改憲派を上回りました。「世界に誇れる平和憲法だから」の理由が最多だといえます。

自衛隊のイラク派兵に違憲判決

イラク派兵違憲の 判決について学習会

日時：6月1日(日) 午後2時～4時

場所：中央公民館
(市民会館北側2階)

講師* 浜田章作(代表世話人)

この学習会

「境港九条の会」ではこの判決をうけて学習会をすることにしました。いま衆参の憲法審査会が動き出そうとしており、改憲の波が打ち寄せようとしています。私たちは大きな防波堤を築いて波をはらいのけ、平和と暮らしを守っていきましょう。

「9条世界会議」が開かれました

「日本国憲法九条は日本の平和の礎であるのみならず、平和を願う世界の市民にとっての共有財産である」・・・1999年のハーグ市民会議は「各国議会は憲法九条のような、政府が戦争をすることを禁止する決議を採択すべきだ」と呼びかけ、2006年バンクーバー世界平和フォーラムは「各国政府が憲法九条のように憲法で戦争を放棄すること」を求めました。

このような世界の共有財産としての九条を支持し、「武力によらない平和」を求めるため、大規模な「9条世界会議」が日本で開催されました。千葉幕張では一万人、広島では1100人が参加。「境港九条の会」からは長谷川涉さんが広島の大会に参加されました。

事務局連絡先

岩本泰蔵 中野町 5083

0859-44-2574

永見慎一 岬町 1-80

0859-44-6660

ホームページアドレス

sakaiminato-9.net